



座ったままでスムーズな着用が可能な「R-e. Gown」



人間工学に基づいた設計で、無理なく腕をあげることができる



CT検査用腕置台「RestAm(レストラム)」

介護用オリジナルガウンの開発および普及プロジェクト

ニーズを汲み取り、開発する。分野横断的な挑戦へ

昭和48年の創業以来、透水性・浸透性コンクリートの設計・製造を行う北海道ポラコン株式会社。ポラコンとはポーラスコンクリートを意味し、多孔質で連続した隙間を有しており透水性が特徴だ。同社は創業以来、雨水流出抑制のノウハウを培い、大型店舗や商業施設、工場や公園などさまざまな施工に関わってきた。

一方で同社は、代表取締役の中島さんのベンチャー企業でのキャリアを活かしながら、さまざまな新分野への挑戦も続けている。そのひとつが、CT検査用腕置台「RestAm(レストラム)」事業(令和5年度

医療機関ニーズ対応型開発補助金採択)だ。コロナ禍の医療現場からのニーズを汲み取り開発した製品で、放射線部でCTやMRI検査を行う際、仰臥位で腕を上げる姿勢を支えるためのものだ。既存の台では安定感が得られず腕が動いてしまうため、新製品を求める声が多かったという。「RestAm」は人間工学に基づいた設計で、多様な体勢への対応が可能だ。同社はこうした医療分野での経験を活かし、本事業では介護用オリジナルガウンの開発とその普及事業に挑戦した。

介護現場のニーズをかたちにし、ブラッシュアップを図る

多くの介護施設では、入居者の起床後、朝食前に着替えを行う。しかし、夜勤の職員が1人に対応する場合、負担が大きく、早朝からの着替え作業が欠かせなくなる。要介護度の高い入居者が多い施設では、着替えにかかる時間がさらに長くなる。

「R-e. Gown(アールイー介護用ガウン)」は、こうした現場のニーズを受けて開発された。ワンピースやエプロンのようなふんわりとしたデザインで、背中面が開いており、椅子に座ったままでも簡単に羽織れる。朝食時にさっと羽織り、私服への着替えは食後に日勤の職員とともに行うことで、入居者の睡眠時間の確保と職員の作業負担削減が実現する。

いくつかの介護施設でガウンを試用した実証実験を行ったところ、機能性は一定の評価を得たが、デザイン面では改善を求める声もあがった。また、要介護度の低い入居者が多い施設では、そもそも着替えに対する課題意識が薄く、ガウンの有用性に関する明確なフィードバックが得られない施設もあった。同社は今後の事業化に向け、さらなる改善や調整を進める予定だ。

代表取締役
中島 康成



今後も分野を問わず挑戦したい

本事業では、総合的かつ心強いバックアップに感謝しています。展示会にお声かけいただくなど、新たな世界で学びを深めるきっかけにもなりました。

公式ホームページはこちら

<https://poracon.jp>



北海道ポラコン株式会社

札幌市中央区南4条西6丁目8 晴ばれビル7階

TEL 011-251-4566 FAX 011-251-4689

設立:昭和48年6月 従業員数:30名 代表者:中島 康成

良い仕事、
良い組織、良い社会を。
ポーラスコンクリート製品などの設計製造を行う一方で、
現場のニーズに応える製品開発にも注力。